

漫画・アニメ研究部

現部長 眞田 悠生
前部長 小川 詩織
顧問 加藤先生

私たち漫画・アニメ研究部（通称：漫研）は一年生二名、二年生四名の計六名で活動してきました。年々減っていく部員数に危機感を微かに感じながらも、今日も部員たちはのんびりと活動しています。

：ところで、みなさんは漫研にどのような印象を抱いているのでしょうか。“のんびりしていて、特になんにもやってない部活”、“研究とかいってただマンガ読んでるだけ”、もしくは“無”、といったところですかね。

しかし、ノンノンノン!!実はこれでも、やることはやっているのです。（いや、現にのんびりもしているのだけ。）

一年に数回開催される「同人イベント」、夏には「学祭部誌の作成、販売」、さらに不定期に行われる「部員の熱い議論」、そして、「漫画甲子園」があります。

特に、「学祭部誌」

ここで、先輩から後輩へ受け継がれるものも大きいです。細かい一つ一つの作業の手順・コツや、良い作品のアイデアが浮かばないときの不安、メ切的プレッシャーと闘う根性精神をも学びます。

かくいう私も、先輩方にはたくさんのことを教わりました。お世話になりました。本当に感謝しています。

漫画は創作です。自らの心から作品たちを生み出します。

たしかに、漫研の部員はいつもものんびりしているけれど、やるときはやる、修羅場（メ切前）には、鬼の形相で自分の子を必死に生み出す、そんなマンガみたいなヤツです。

漫研は“無”の部活なんかじゃないですよ。

新入部員、いつでも待っています。

